

東日本大震災復興支援チャリティライブ報告 ～ぱれっとの活動に参加して

●日曜午後のチャリティライブ

3月11日にスリ兰卡料理&BEER Paletteで、東日本大震災復興支援チャリティライブが開かれました。出演者は、ひろしとたけし、上田智弘、吉浦隆司、飯浜ゆきこ、五十嵐正史とソウルブラザーズ、そして、店長の南山達郎の皆さん。フォークギターを弾き、あるいはハーモニカを吹きながら、それぞれのオリジナル曲、「I love Fukushima」など東北にまつわる曲、そして往年のヒットソングなどを、4時間にわたって熱唱しました。

期待以上に多くのお客様がライブを聴きにつめかけてくださって、会場は終始、熱く盛り上がりました。ご家族の声援を受けて、お嬢さんが幼稚園で習ったという曲をお父さんが披露する一幕などもあって、和気あいあいのなごやかなムードが印象的でした。大震災が起こった2時46分には、出演者もお客様も一緒に、黙とうを捧げました。

このチャリティライブは入場無料で、すべてのドリンクは200円の大特価。そしてドリンク料金の半額は、震災復興支援活動を行なう「癒しのプロ集団 チーム恵比寿」に寄付されました。チーム恵比寿は、整体師やネイリストなどの技能プロが被災地を訪れて、被災者の皆さん



【チャリティライブにゲスト出演して、被災者支援活動の様子を紹介する宮崎さん】

を支え、励ます活動を展開しています。ライブ当日は副代表の宮崎征紀さんがゲストとして登場。写真などを示しつつ活動の様子をご紹介くださいました。このような災害復興に向けた地元の人々による支援活動を、チャリティライブという形でぱれっとがサポートし続けているのは、幾重にも素敵なおことだとうれしく思いました。

●たまり場やおかし屋でもお手伝い

私は、10年ほど前に理事長の谷口さんが参加された米国NPOフェローシップ・プログラムに際していただいたご縁をたよって、今回ぱれっとの活動体験とサポートの参加をさせていただきました。

このチャリティライブでのドリンク係や事務局でのお手伝いに加えて、たまり場ぱれっとの多国籍習字にも参加しました。穏やかな静けさに支配されたお寺での読経、写経と自由習字を、40人をこえる参加者とともに楽しませていただきました。

さらに、おかし屋ぱれっとでは、企業でのクッキー・お菓子とカレー弁当の販売をサポートさせていただきました。企業には毎月一度のぱれっとの出張販売を心待ちにくださるファンも多く、長年の地道な活動が実って、ぱれっとのサポーターが幅広く着実に増えていることが心強く感じられました。

短期間ではありましたが、このように広範囲の活動体験とサポートをさせていただき、大変貴重な経験となりました。ぱれっとの皆さん、お世話になり、どうもありがとうございました。

元独立行政法人職員 佐藤宏美